

大原中だより

さいたま市立大原中学校
☎ 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 5 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成29年8月29日(火)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

終業式の話

校長 中島 俊尚

1学期の終業式の話をしていただきます。今回は次の3つの柱で式辞を述べる予定でしたが、(1)夏休みに向けて (2)1学期を振り返って (3)2学期に向けて。

ところが体育館がたいへん暑く、ステージにいただけで額から汗がしたたり落ちてきます。しかし生徒はいつもながらのすばらしい態度で私の話を待っています。とっさに「今日は体育館がとても暑いので予定した話の半分はカットします、だから暑いけど、がんばって聞いてください」と叫んでいました。結局、式辞は、(2)すなわち1学期の生徒の活躍を評価する部分を割愛して予定の半分の時間で終わりました。後悔の念がこみ上げてきます。「いくら暑かったからといっても、あんな式辞でよかったのだろうか？」そこで学校だよりの校長のページを使って、あの日、生徒に話す予定だった式辞の一部を掲載させていただくことにいたしました。何卒ご了承ください。

ここで少し1学期を振り返ってみます。授業は、楽しく、力がつく授業だったでしょうか？1学期たくさんの授業の中で、楽しそうに学習に取り組むみなさんの様子を参観させていただきました。教室に入ると「こんにちは！」と明るく声をかけてくれる教室もあり、とてもうれしかったです。2年生が美術の時間に作成したワンポイントTシャツの写真が職員室前にきれいに展示されています。朝は、できるだけ大原中橋のところに立って、みなさんを笑顔で迎えるようにしました。今年は特に私自身が体調を壊し、具合の悪い日も多くありましたが、みなさんの気持ちのよいあいさつのおかげで、私の方が元気になることもしばしばでした。それから安心・安全第一ということで、特に登下校時の歩き方について注意を呼びかけました。

部活動について、生徒朝礼で2回に分けて、壮行会を開きました。気合の入った各部代表のスピーチ、生徒会長の激励の言葉、目標に向かって、運動部も文化部も本当にすごいと思いました。学校総合体育大会も最高でした。それから生徒会のいじめ撲滅の取組もさすがでした。<いじめの芽 水と涙を 与えるな>、<いじめじゃない それを決めるの あなたじゃない>、そんな、みんなのいじめ防止標語でつながれた、美しい貼り絵が昇降口に飾られていますね。

3年生と行った京都・奈良の修学旅行も忘れられません。時期が梅雨真っ只中で、雨が心配でしたが、1日目の奈良班別行動も、2日目の京都班別行動も、よい天候に恵まれました。3年生の、自分の役割を強い責任感で実行する力、仲間を思いやり、協力する力、そして最上級生としてのプライドなど自治の力を感じた思い出深い時間になりました。3年生が交通機関を利用しているときのマナーの清々しさも心に残りました。

修学旅行と同時期に行われた、1年生の上野・浅草校外学習も大きな成果をおさめました。中学校で初めての校外学習、班別行動、たくさん失敗もしたけれど、それが2年生の館岩や3年生の修学旅行に生きるはずです。班長さんを中心に本当によくがんばりました。教室前に掲示してある、上野・浅草校外学習のまとめ、写真や絵が上手に使われていて読みやすかったです。それから2年生の車いすバスケットボール講演会については、今年も障害者スポーツや生き方について考えるよい機会となりました。2年生の学年だより号外には、よい体験を象徴する深い感想がたくさん掲載されていました。



7月に入り、3年生が体験した、浦和西高校の先生方による出前授業と、出前授業10周年記念のパネルディスカッションでは、これまた深い学びができました。高校生活への夢と希望と、そしてもっと高校について調べてみたいという意欲が膨らみ、充実した時間になりました。1週間後の卒業生に学ぶ進路学習もすばらしかったです。なんと42名もの卒業生(高3)がゲスト・ティーチャーとして3年生の教室に来てくれました。

今回は生徒諸君がこの原稿を読み、あの日の式辞とつなぎ合わせ、活力に満ちた2学期をスタートさせてくれることを強く望みます。保護者・地域のみなさま、今学期もどうぞよろしくお願いたします。